

花と木の実践養成教室

令和8年1月27日 (火)

バラの冬管理について

バラは、枝を更新することで元気な花を咲かせることができます。

枝をそのままにしておくと、上手く育たなくないます。つまり、バラは枝を更新していくことで、株自体を活性化し毎年よい花を咲かせます。

バラを栽培するためには、この作業(剪定)がとても重要となってきます。

ハイブリッドティ (HT)

四季咲きの大輪種で、品種も多く、花形や色も香りも豊富にあります。

フロリバンダ (F)

四季咲きの房咲き中輪種で、一枝に数多くの花を咲かせます。

剪定 (1月中旬～2月上旬)

枯れ枝や細い枝を元から取り除き、昨年花を咲かせた枝やシュートを切ります。剪定する高さは、系統によって異なりますが、(HT)は剪定前の樹高の1/3位に、(F)は剪定前の樹高の1/2位に剪定するのが目安です。枝を切る時は、株の中心から外側にある(外芽)の5mm上で切ります。

ハイブリッドティ



剪定前



剪定後

フロリバンダ



剪定前



剪定後

今回は、ピースローズ倶楽部の皆さんが、活動されている平和公園バラ花壇で剪定を行います。



鉛筆より細い枝や枯れた枝は、枝元で切り取ります。
残す枝の数は、5~7本くらいが理想的です。

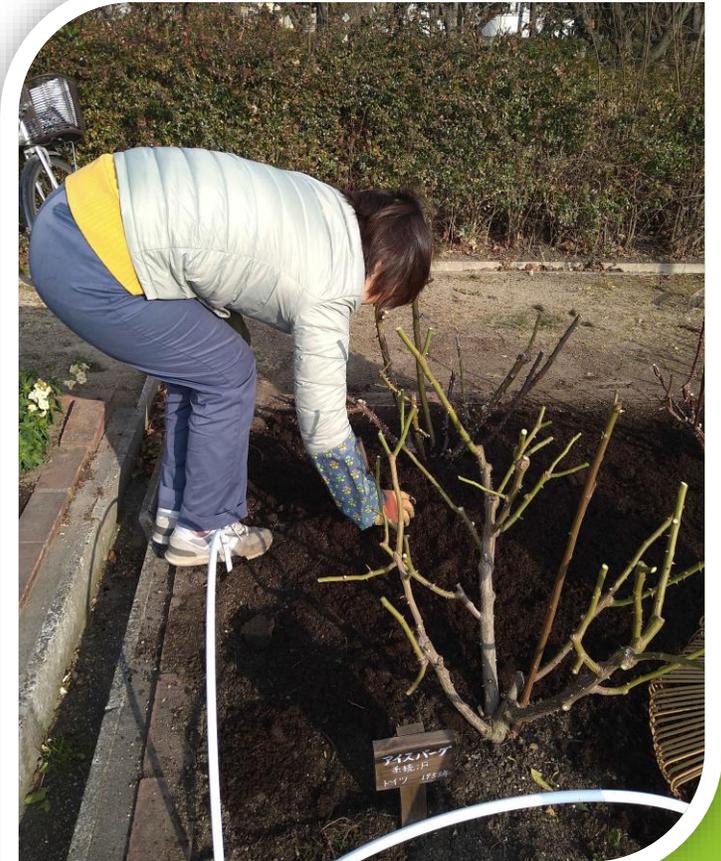
堆肥と肥料を
入れる穴を開けます！

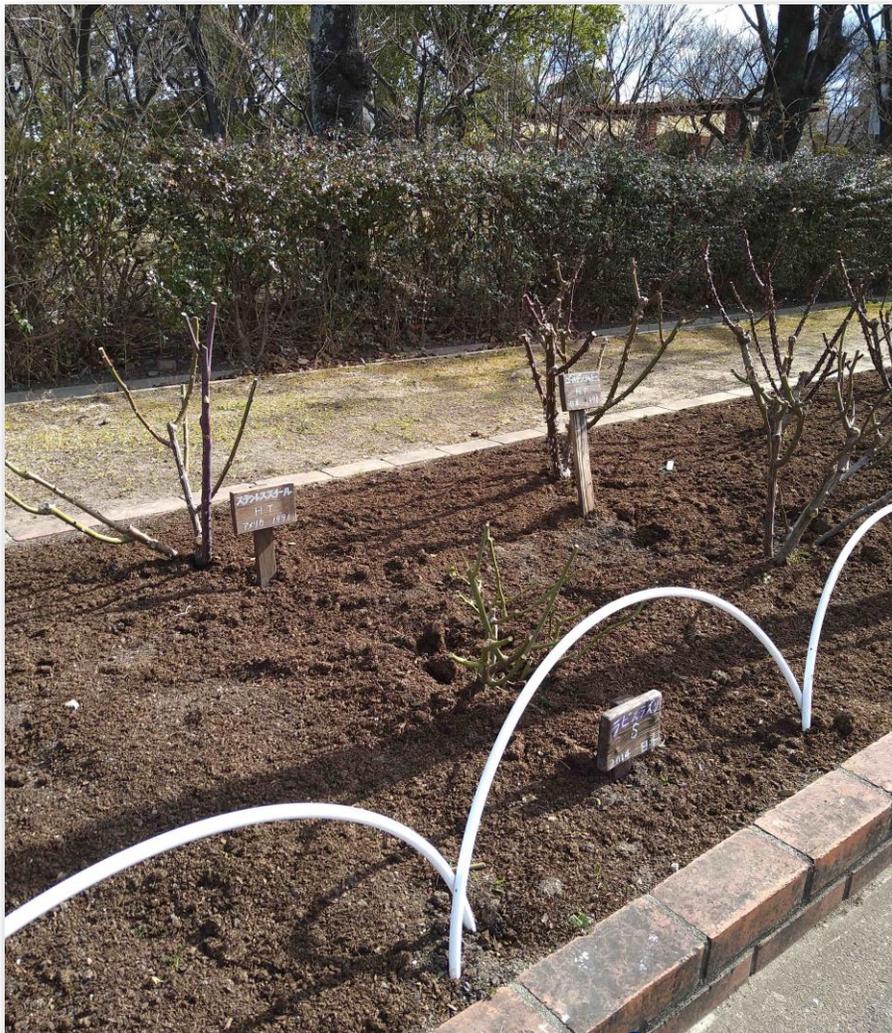


施肥は、1月～2月上旬までに行います。今回は株から30cm位離れた所に深さ20cm位の穴を掘り、1つの穴にバーク堆肥3ℓ・油粕300g・骨球100g・硫酸カリ10gを配合して与えます。



最後に雑草対策・乾燥防止保湿効果・病気対策の為
バーク堆肥でマルチングします。





**剪定と施肥が終わりました。春の開花が楽しみです！
みなさんありがとうございました。**